原っ子

学校だより №14（通算57号）
令和５年６月２９日
小郡市立大原小学校
校長　山本貴澄　Tel 72-5500

今年度の重点目標「学び合い　助け合い　やり遂げる集団づくり」
合言葉「チャレンジ！　みんなでまなぶ　やりとげる」

４年生 社会科見学へ行ってきました！

６月１６日（金）、４年生が「ごみはどこへ」「水はどこから」の学習で、筑紫野市と小郡市にある３つの施設に社会科見学に行きました。

【クリーンヒル宝満】

筑紫野市、小郡市及び基山町の２市１町から出される一般ゴミの処理を行っている施設です。施設は「熱回収施設」と「リサイクルセンター」の２つからなり、「熱回収施設」では１日最大 250 ｔのごみを処理することができます。また、「リサイクルセンター」ではごみを資源として再利用するため、選別、破砕、圧縮等を行っています。

【山神ダム】

山神ダムは、筑紫野市を流れる山口川の上流に建設された多目的ダムです。高さが 59 ｍ（18 階建てのビルの高さ）、長さが 307 ｍ（バス２９台分）、総貯水量 2,980,000 ㎥（25 ｍプール１万杯分）で、洪水調節や下流の浄水場への水道水の供給を目的としています。

【宝満川浄化センター】

小郡市北部と筑紫野市南部の下水処理場として１９８８年（昭和６３年）に建設されました。汚れた水から小さなゴミや泥を取り除き、さらに活性汚泥を混ぜて有機物を沈めます。最後に砂で濾過してきれいになった水を宝満川に流します。

各見学場所では、お話を聞いた後でたくさんの質問をしました。「百聞は一見に如かず」といいます。実際に見て確かめたことで学習への関心と理解が一段と高まりました。

【クリーンヒル宝満】

【山神ダム】

【お弁当タイム】

【宝満川浄化センター】

【子どもの感想】

ぼくは、金曜日、１年から４年までで初めて少し遠くのところへの社会科見学に行きました。今回は、クリーンヒル宝満、山神ダム、宝満川浄化センターの３つをまわりました。

クリーンヒル宝満は、まわった３つの中で一番タブレットで調べていました。しかし見学で知らなかったことがたくさん出てきました。とくに発電所としてもあるというところがおどろきました。しかも、１時間で４４９０kW（家１５００戸分）もの電気を発電しています。その電気は売ったり使ったりしているとのことです。このようにクリーンヒル宝満のしていることがまた何こか知れたのでよかったです。

次は、山神ダムについてです。山神ダムは、だいたいが知らないことばかりでした。とくにダムの水がなくなったことがないということです。ぼくは３回ぐらいはなくなったことがあるんじゃないかと思っていましたがちがいました。そもそも少なくなってもすぐ雨がふるのでほぼなくならないそうです。なのでぼくはすごく安心しました。

さいごに宝満川浄化センターについてです。そこで活性くんがよごれを食べた水とそのままの水を見くらべると活性くんが入っていた方があっとうてきにきれいでした。ぼくは、活性くんすごいなあと思いました。それに活性くんのしずむ速さもわかりました。浄化センターは活性くんのことがよくいんしょうにのこっています。

今回はしっかり勉強もできて楽しめたのでよかったと思います。